

メッセンジャーズ・オブ・ピース 各国の実施状況（WOSMホームページより）

（エジプト・スカウト連盟）

児童労働を撲滅する

エジプトのスカウトは、児童労働を無くし、働く子ども達を助けるための活動を行っています。エジプトのスカウトが児童労働の問題に取り組むようになったのは2002年からで、当時はアレキサンドリアで、子供とその雇用主に対するプロジェクトを行っていました。

この、しばしば「忘れられた」子ども達の世話をし、子ども達が同年代の子供と同じように遊んだり学んだりすることができるようにすることを通じて、スカウトは地域社会の興味を引き、あとの人達が希望を持って続くようにしています。

（モルドバ・スカウト連盟）

環境と奉仕活動

モルドバのスカウトは、様々な地域社会で環境と奉仕のプロジェクトを展開しています。カグル地区のスカウトは、全長3キロの飲料水系を復興し、きれいな水が136の家庭に届くよう支援しました。モルドバのスカウトは152ヘクタールの土地に木を植え、6つの泉と27個の井戸をきれいにしました。最終的に、より多くの地域の子ども達に楽しく教育的な活動を提供できるよう、400人の若者を集めて7つのキャンプを実施しました。その内の250人はスカウト運動に興味を持ち、現在も参加しています。

（中国（台湾）スカウト連盟）

デジタルデバイドの架け橋となる

中国（台湾）のスカウトたちは、遠い地方の学童にコンピューター・リテラシー（コンピューターの使い方）を教えることで、デジタルデバイドを克服するための活動を行っています。スカウトは子ども達にコンピューターの基本的な使い方を教え、安全に建設的にインターネットを使う方法を教えます。

コンピューターの使い方を学び様々な情報資源に接することで、生徒達はより良い教育を受け、未来に備えることができるようになります。この教育プログラムはローバースカウト達が開発したもので、文部省と地元の学校がこのプログラムを支援しています。スカウトたちは、このプログラムが地域社会に恩恵をもたらし、できるなら多くの地域に広がって欲しいと望んでいます。

（フランス・スカウト連盟）

みんなのためのスカウティング

「みんなのためのスカウティング」は、都心部や都市部においてスカウティングを広めるプログラムです。ここでは、若者が難しい社会・経済・家庭の問題に直面しています。現在、約2000人の子供と若者がプログラムに参加しています。約40のローカルプロジェクトを展開し、20のスカウト団が都市部にできました。

（ブラジル・スカウト連盟）

子ども達から武器を取り上げよう

ブラジルのスカウトは「子ども達から武器を取り上げよう」というプロジェクトを始めました。スカウトは、若い人を武器から引き離す（例えおもちゃの銃であっても）教育プログラムを行っています。スカウトたちは、銃の使用がどのくらい破壊的かということと、対話と和解を通じて争いを解決することを教えています。

ブラジルの若者が大人としての生活に向かう際にこうした教育を受けるようにすることで、銃を所持し使用する、というサイクルを壊そうとしています。

（ケニア・スカウト連盟）

平和の木

ケニアのスカウトは、指定された地域に1000万本の植樹を行っています。各スカウトは、少なくとも36本の木を植え、育てます。ケニアのスカウトたちは、苗木畑を作ることから始めました。苗が十分に大きくなったら、苗は集水域、不毛な地域、レクリエーションの地域、様々な施設、家庭に植えられます。このプロジェクトは、人々と野生動物のための環境を改善するためのものです。植樹によって、水の量を増やして消費に備えたり、人と人との対立や人と野生動物との対立を減らしたり、貧困を減らしたりします。ケニアのスカウトはまた、一般の人々に対しても植樹の啓蒙プログラムを行っています。